

園長あいさつ

園長 小松 守



じ取っていただきたいのです。子ども大人もそれぞれの顔に動物に癒された優しい表情を見ることができました。日本人は動物が大好きで、そこには独特の雰囲気があります。動物を同情的に捉える態度は、人と自然を一体的に捉える日本人の自然観に内包されたものとも言えます。

今年も秋田の動物園は「動物と語らう森」をテーマとします。「物の時代から心の時代へ」と言われる現代、心を大事にする動物園であり続けたいと思います。動物の力を信じ、様々な工夫やサービスでそれを皆さまにお伝えすることは私たちの大きな使命の一つです。スタッフは今、「大森山動物園、ますます変わったね・・・」をお客さまから聞きましょう」を合い言葉に3月春のシーズン開園に向け新サービスでの魅力アップ作戦の準備を進めております。この4月には入園料の改定をさせていただきますが、より充実したサービスのご提供のためにも何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。今シーズンもご愛顧よろしくようお願い申し上げます。

今年の干支は「辰」、架空の動物「竜」を当てています。「辰」の元々は「蜃」であり、これはハマグリが海底で勢いよく水(気)を吐き推進する様を表しているようです。私事になりますが、今年で動物園生活が38年目になり、年齢も暦が一巡する年になります。残された大森山生活、スタッフといっしょに動物園が秋田の元気に少しでも結びつくように、蜃のように勢いよく気を吐きながら取り組んで参りたいと存じます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

新しい年が明け、皆さんは思いを新たにそれぞれの目標に向かい、歩み、あるいは駆け出していることと思います。国内外を問わず政治・経済、社会情勢は混迷の状態です。年が明け、国内、なかんずく東北は東日本大震災の復興や原発事故から派生する環境問題が続出するなど、先が見えない閉塞感が強く漂ったままです。こうした中、年末に恒例になっている京都清水寺での漢字での世相表現では「絆」の字が書されました。多くの国民が意識した一字だったのでしょう。整然と皆で助け合おうとする姿は海外ニュースで配信されていましたが、「絆」への思いは、人のつながりを大事にしようとする日本人の「心」の現れであり、力の源にもなっているように思います。

一年前の震災直後、私たち秋田の動物園は春の開園日をひかえていました。様々なご意見のある中、私たちは敢えて開園に踏み切りました。動物の力を信じたからです。子どもは喜び、大人も動物から元気ももらいたかったのか、多くの方々にご来園いただきました。私たち大森山動物園は「動物と語らう森」をテーマに人と動物との出会い、ふれあいを大切にすることを一つの経営指針としております。動物を身近にすることで、安らぎとともに「生きる力」をも感

こんにちは!あかちゃん

今回は双仔のオンパレード!



カピバラ

9/25、若いメスのサツキが双仔を生みました。まだ性別はわかりませんが、2頭は「ぐり」と「ぐら」と名付けられてスクスクと育っています。



アフリカタテガミヤマアラン

9/5、メスのワヤが双仔を生みました。先号でもお伝えしましたが、4月に引き続き出産で、旺盛な繁殖力に驚いています。



コモンマーモセット

11/5、若いメスのももが双仔を生みました。1頭は7日目に亡くなりましたが、もう1頭は無事に育ち、80日齢を過ぎた現在では、ほぼ一人だちしています。

●この他、11月～本年1月にかけて、**ケヅメリクガメ**が8頭孵化しています。

移動動物のご紹介

ヨロシクね!

仲間入りした動物たち



アムールトラ

10/18、昨年の4月4日に広島市安佐動物公園で生まれたオスのヒロシとメスのアサコがやってきました。当園のアシリと昨年亡くなったウィッキーにとっては孫にあたります。来園当初は隅に隠れてばかりいましたが、11月から展示場に出るとやんちゃぶりを発揮し、2頭で追いかっこをして遊ぶようになりました。



ピューマ

10/18、オスのピューマが名古屋市東山動物園から来園しました。詳しい年齢は不明ですが、2001年から飼育されていたそうです。一足早く同園から来園したメスのピューコとあわせ、2頭とも凛々しい顔立ちで人気を集めそうです。



シバヤギ

12/7、八木信濃丞(やぎしなのじょう)という立派な名前の1オスのオスが、長野市茶臼山動物園から来園しました。



アメリカビーバー

10/27、八木山動物公園より若い個体2頭が来園しました。



ブルーリードッグ

10/27、東武動物公園より、オス2頭が来園しました。

●この他、ふれあい広場に新しい**ウサギ**が仲間入りしています。

待ってるよ!

仲間入りする予定です

アミメキリン

今春、長野市茶臼山動物園から2010年6月13日生まれのオスのアミメキリンがやってくる予定です。

ツクシガモ

福山市動物園からツクシガモのペアが来園予定です。お楽しみに!

元気でね!

大森山を後にしました

ニホンリス

10/20、2010年生まれのオスとメスを福山市動物園へ搬出しました。

シバヤギ

10/24、2011年生まれのオス3メス2頭を動物交換で名古屋市東山動物園に搬出しました。

イヌワシ

1/6、2011年3月31日生まれのメスを札幌市円山動物園に、さらに1/23、2011年4月7日生まれのメスを、東京都多摩動物公園に移動しました。これらは、希少動物の保護増殖に寄与するための移動です。

タンチョウ

10/24、2010年の5月に生まれたメスのチルチルを、動物交換で名古屋市東山動物園に搬出しました。

飼育動物数

2011年12月末現在

類	種数	点数
哺乳類	53種	283点
鳥類	43種	187点
は虫類	9種	40点
両生類	1種	2点
魚類	4種	37点
無脊椎動物	1種	16点
計	111種	565点

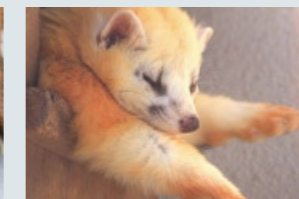
訃報

忘れないよ!:



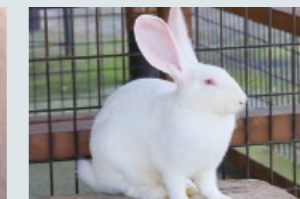
カイウサギ(ロップイヤー)

9/18、昨春に道の駅セリオンの名誉駅長を務めたオスのムッキーが亡くなりました。



ホンドテン

11/6、特徴的な寝姿で親しまれていた当園生まれのオス、テンキチが亡くなりました。



ジャンボウサギ

No81号の表紙を飾ったジャンボウサギのオス、フトシが亡くなりました。

この他 アライグマ、ホンドタヌキ、ホンドザル、チョウゲンボウ、ニホンコウノトリ、ヒナドリ、インドガン、インドクジャク、キタヤマドリなどが亡くなりました。皆それぞれ活躍してくれた動物たちでした。冥福を祈ります。